



長浜曳山まつり
Nagahama Hikiyama Festival

ユネスコ無形文化遺産登録推進展示

湖北は 曳山のまち

湖北地域に広がる
曳山文化をご紹介します。



常盤山
長浜市五村自治会蔵



颯々館
長浜市宮司東町自治会蔵



高砂山
国立民族学博物館所蔵
(旧長浜市高月町雨森)



<曳山展示>

月宮殿・春日山 (4/25~7/18、9/26~12/18)
諫鼓山・青海山 (7/19~9/25、12/19~3/31)

平成28年 7月4日(月)~9月11日(日) 会期中無休

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)
入館料 大人600円、小中学生300円
(団体20名様以上2割引)※長浜市・米原市の小中学生は無料
主催 公益財団法人長浜曳山文化協会

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

湖北は曳山のまち

平成28年 7月4日(月)～9月11日(日) 会期中無休

1階展示

国指定重要無形民俗文化財に登録されている長浜曳山祭が山車文化の精華であることは論を待たない。精巧な飾り金具や、豪華な幕類に彩られた豪華絢爛な曳山は、長浜の町衆の先取性とそれを支える経済性の賜物である。長浜曳山祭に代表される芸山（舞台付きの曳山）は「長浜型」と呼ばれ、江戸後期から明治期にかけて広く伝播した。特にここ湖北地方においては、長浜曳山祭から派生した曳山文化が浸透していることを示すように、各地に曳山が製作されていた。また、それらの多くは、長浜曳山祭のように舞台上で子ども歌舞伎などの芸が披露されたといわれている。

湖北地方に広がる曳山文化の姿をリアルに伝えと共に、芸山という独自の文化がどのように拡散していったのか、その足跡も追及する。

主な展示資料

宮川祭颯々館見送幕「雲龍図」	一枚	文政12年(1829)	長浜市宮司東町自治会蔵
宮川祭颯々館楽屋襖「松虎図」	四面	享和4年(1804)	長浜市宮司東町自治会蔵
虎姫五村常盤山見送幕	一枚	文政5年(1822)	長浜市五村自治会蔵
高月雨森高砂山細部意匠型紙類	八枚		藤岡家大工資料
米原行山建地割図	一枚	明治3年(1870)頃	藤岡家大工資料
米原旭山細部意匠型紙類	九枚	宝暦10年(1760)頃	藤岡家大工資料
米原南町組・中町組型紙	一枚		藤岡家大工資料



虎姫五村常盤山見送幕
長浜市五村自治会蔵



宮川祭颯々館楽屋襖「松虎図」
宮司東町自治会蔵

2階展示

湖北に広く深く浸透している曳山文化。長浜曳山祭に不可欠な三役（振付・太夫・三味線）とシャギリは地元で担い手が養成されている。

2階展示室では受け継がれていく「無形」の部分である「長浜曳山祭囃子保存会」と「三役修業塾」について紹介する。

主な展示資料

高砂山「御遣り」	一枚	現代	長浜曳山祭囃子保存会蔵
長浜祭曳山ばやし(笹原昭太郎氏作譜)	一冊	現代	長浜曳山祭囃子保存会蔵
太鼓、しめ太鼓	二面	現代	月宮殿田町組蔵
篠笛	二本	現代	本館蔵
三味線	一丁	現代	個人蔵
黒漆塗金青貝紅葉流水紋高蒔絵見台	一台	現代	本館蔵



高砂山「御遣り」
長浜曳山祭囃子保存会蔵

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

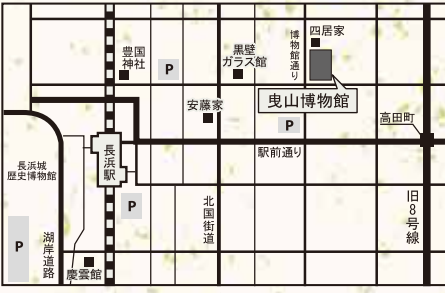
[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/

入館料			
	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳の提示で本人と介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

- 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分